

学校経営の基盤

1 地域の概要

（1）地域の歴史

この地域がいつごろからどのように開けたかは伝承の史実がないが、町内各地から縄 文式・弥生式土器が発掘されているところから推測して先住民族は山麓の台地に点々と住み、その後、大小河川の治水が定まるにしたがい順次平地に移り住み荒地を開拓して農業を営むようになって村落が形成されたと考えられる。

昭和30年7月1日に鳳来村、菅原村の全部と駒城村の一部（横手・大坊）、及びいったん長坂町になった花水が分町合併して白州町が誕生した。尾白川、濁川（現在の神宮川）から流出した真白き砂が、釜無川との間に大きな洲をなしていることが町名の由来である。

平成16年11月1日、周辺6町村と合併して北杜市白州町となった。

（2）地域の自然環境

白州町は県都甲府から北西に約30Km、長野県との県境に位置する。西部は甲斐駒ヶ岳を主峰とする山岳地帯、東端は八ヶ岳火砕流による七里ヶ岩の岸壁がさえぎり、この岸壁に沿って釜無川が流れている。赤石山系に源を発する流川、神宮川、尾白川、大武川等の大小河川が西から東に流れ、町を分断しながら流域に起伏の激しい扇状の傾斜地を形成している。そのため平坦部がわずかしがなく、冬の寒さも厳しく、生活は常に厳しい自然と隣合わせである。景観は、南アルプスを背景に、すばらしい山岳と渓谷の美色鮮やかな四季の変化に富む町である。主産業である農業は、米を中心に果樹、野菜の栽培などが盛んである。

2 学校の沿革

昭和29年度　菅原村・鳳来村・駒城村・3ヶ村中学校組合立白洲中学校を設置 校章バッジ制定

昭和30年度　7月1日町制施行により白州町立白州中学校と校名変更 創立記念日とする

昭和32年度　屋内体育館落成式挙行 校旗制定 吹奏楽部設置

昭和39年度　バレー部県大会3連覇

昭和41年度　町営プールとしてプールが完成

昭和43年度　特殊学級開設研究実践が認められ、学研賞を受賞

昭和44年度　バレー部関東大会 全国大会出場 野球部県大会優勝 吹奏楽部関東大会出場

昭和46年度　県中学校選抜野球大会優勝

昭和47年度　県中学校総合体育大会　野球・女子バレー優勝

昭和48年度　連合警備に委託し、無人化になる

昭和50年度　第1回学園祭を実施

昭和53年度　新校舎完成

昭和54年度　新体育館完成

昭和57年度　給食棟完成

昭和59年度　創立30周年記念式典実施

昭和61年度　バレー部県大会優勝 関東大会出場

平成 元年度　第1回P T A親子早朝愛校作業実施

平成 4年度　学校週5日制調査研究協力校に指定

平成 5年度　卓球部県大会優勝 関東大会出場

平成 6年度　卓球部県大会優勝 全国大会出場

平成 7年度　白州町海外派遣事業開始

平成 8年度　チーム・ティーチングの研究校に指定

平成 9年度　北巨摩学校保健会推進校に指定

平成10年度　学校保健推進優良校として表彰される　卓球部、陸上部関東大会出場

平成12年度　卓球部が総体、新人戦で優勝 功労賞受賞

平成13年度　校舎本館耐震大規模改修実施

平成15年度　地域ふれあい道徳教育推進校に指定

平成16年度　創立50周年記念事業を行い、記念誌を発行 北杜市立白州中学校と校名を変更

平成17年度　ボランティア活動普及協力校3年間指定

平成19年度　相撲部全国大会出場（18年度関東大会出場）

平成20年度　前年に引き続きキャリア教育推進校に指定

平成21年度　学校体育研究推進校に指定（前年度から）

平成22年度　太陽光発電設備の設置 口腔衛生優良推進校受賞 卓球関東、相撲部関東・全国出場

平成23年度　東日本大震災を期に防災マニュアルの見直し 卓球部関東選抜大会出場

平成24年度　北杜北給食センターの給食を開始 卓球部が2年連続関東選抜大会に　出場

平成25年度　卓球部が3年連続関東選抜大会に　出場

平成26年度　開校60周年式典及び文化庁公演事業の実施 卓球部関東大会出場

平成27年度　文科省省指定「実践的防災教育推進事業」「元気アップ事業」地震速報システム導入

平成28年度　卓球部関東大会出場 「ぼうさい甲子園奨励賞受賞」

平成29年度　武川中学校と合同合唱祭「白州地域防災お助けマップ」「口腔衛生推進学校表彰」

平成30年度　北杜市「原っぱ教育」実践研究モデル校支援事業指定校（平成30・31年度）

令和 元年度　北杜市「原っぱ教育」実践研究モデル校支援事業発表 普通教室・音楽室エアコン設置 県新人卓球大会男子団体優勝 型コロナウイルス感染予防（3月4日～3月24日臨時休業）

令和 2年度　新型コロナウイルス感染症予防（4月9日～5月24日臨時休業）毎日検温 健康チェック表提出、マスク着用、手指の消毒。卓球部県総合体育大会男子団体戦優勝。体育館の雨漏り改修工事、トイレ洋式化・乾式床改修工事実施。

令和 3年度　新型コロナウイルス変異株急速感染拡大。合唱祭八ヶ岳まよびホールで独自開催。県吹奏楽のケルBの部金賞。関東中学校卓球大会個人戦出場。3学期部活動自粛・県の指導による「新山梨方式」導入。

令和 4年度　新型コロナウイルス感染予防対策継続。体育館トイレ改修、入口スロープ設置。校庭の古木整備。卓球部県総合体育大会男子団体準優勝。関東大会男子個人、団体出場。

3 学校経営

（1）学校教育目標

「豊かな心、自ら学ぶ力とたくましく生きる力を育む白州中教育」

【めざす生徒像】

- 自ら考え、自ら学ぶ生徒
- 情操豊かで、思いやりのある生徒
- 自分を生かし、互いに高めあう生徒
- 勤労を尊び、人の役に立つ生徒
- 心も体も健康でたくましい生徒
- 高い志を持ち、最後まであきらめずにやりぬく生徒

（2） 学校教育目標設定の理由

VUCA時代と呼ばれる現在、これからの社会を生き抜く生徒たちは、持続可能な社会の担い手として、多様性を認めながら、質的な豊かさを伴った個人と社会の成長につながる新たな価値を生み出していくことが期待される。こうした状況を踏まえ、その基盤を担う学校教育においては、「様々な変化に積極的に向き合える生徒」・「他者と協働して課題を解決できる生徒」・「多様な情報を見極め、再構築できる生徒」を育成していかなければならない。

生徒たちを取り巻く環境の変化により学校が抱える課題も複雑化・困難化する中で、学校と社会が同じ目標を目指し、連携・協働しながら、新しい時代に求められる資質・能力を育てていくことが求められている。社会の変化に柔軟に対応できる力を育むために、心身ともにたくましく生き抜くことができる人づくりを育成の基盤にして、自ら課題を見つけ自ら解決し、それを次に生かしていける力（自ら学びに向かう力を高めること）と人としてよりよく生きようとする力（豊かな心を育むこと）を車の両輪として位置づけ、本校の教育の柱とするべくこの目標を設定した。

（3） 学校経営の方針

豊かな自然に囲まれた本校の生徒は、純朴で明るく素直である。人に優しく、生徒同士も、生徒と教師の間でも気軽に話し合う姿がある。一方で社会性に乏しく、自分を表現することや、自分をより高めようとする意欲等に課題がある。様々な人に出会い、いろいろな事に気付き、深く考え、状況に応じた言動のとれる生徒、社会性のある生徒を一層目指して自律・自立できるようにする。

中学校3ヶ年は義務教育のまとめの時期であり、社会人になる準備期間である。子どもと大人の中間点としての中学生が将来にわたって、自分自身をよく知り、自分の良さを生かすとともに社会の一員としての言動ができるように育ててゆく必要がある。小規模校としてのメリットを最大限に生かして、生徒一人一人が活躍できる機会の充実と教師の授業力の向上を目指したい。

学校教育目標を具現化するために次のようなことに重点を置いて今年度の教育を行っていきたい。

- 地域や生徒の実態に則した教育目標を設定し、特色ある学校づくりに努め、教師や生徒が学校に「誇り」がもてる学校経営を行う。また、地域資源（ひと・もの・こと）の積極的活用を図り、地域 と一体となって子どもたちを育む地域とともにある学校づくりに取り組む。
- 基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着と生徒を主体とした「主体的・対話的な学びを繰り返しながら深い学び」を実現する授業づくりを行う。
- 「学びの甲斐善八か条」等を活用した家庭学習の充実と習慣化を図る。
- 各教科・特別の教科 道徳・特別活動・総合的な学習の時間の本質を踏まえ、生徒が自ら課題を見つけ、調整しながら粘り強く取り組む態度の育成とICTを活用した授業に取り組む。
- 特別支援教育に関する専門性の向上を図り、指導方法を工夫して、生徒一人一人の個性の伸長を図る。
- 自己肯定感や自己有用感を高め、仲間との絆づくりや心の居場所のある学校・学年づくりに取り組むと共に愛情と信頼に基づく「みんなで育てる生徒指導」に努め、「いじめ」を許さない集団の構築と活動の充実を図る。
- 道徳科の授業の充実を図り、教育活動全体を通して、道徳的実践力を高めると共に豊かな心の育成を図る。
- 心の糧となる読書活動や体験的活動、文化芸術活動を通じて、豊かな人間性や社会性を育む。
- 教育活動全体を通じて「いのち・体力・健康・食・安全」に関する理解を深め、基本的生活習慣の定着を図るとともに、進んで運動に親しむ態度を育てる。
- 生徒会活動を活性化し、生徒自身がよりよい学校生活を創るために取り組み、自主的・実践的な態度を育てる。部活動を生徒が互いに協力し合い、高め合いながら自らの適性や興味・関心をより深く追求していく機会にする。
- 自らの個性や特性を理解し、主体的に進路選択ができる能力を育む。また、発達段階に応じた体系的なキャリア教育の推進を図る。
- 信頼される学校づくりのため、ホームページ、学校だより、その他各種通信を通して情報を積極的に発信し、保護者や地域に対して学校教育活動への理解の醸成に努める。また、地域に根ざした学校運営の基盤作り（白州小中学校運営協議会との連携）を推進する。
- 教職員が支え合い、学び合いながら教師力を高め、活力ある学校運営を行う。

4 校内研究計画

（1）研究テーマ

「主体的に活動する生徒の育成」

～ 学習場面に応じたICTの効果的な活用を通して ～

（2）研究 の 柱

この3年間、講習会や実践交流を通してICT機器のさまざまな機能を知り、使ってみようとする意識の向上につながった（令和4年度研究紀要アンケートより）。今年度は、副主題を昨年度までの「～ICTを活用した実践を通して～」から「～学習場面に応じたICTの効果的な活用を通して～」に変え、引き続きICT環境、特に一人一台端末の効果的な活用について研究し、その効果について振り返ったり、意見を交換し合ったりすることで、生徒の主体性や教員の指導力向上につなげたいと考えている。

（3）研究方法

・ICT、特に1人1台端末の効果的な活用についての研究。研究授業以外にも、普段から授業を観察し合い、勉強し合えるような体制の構築。
・ICT関連の学習会に加え、学級・集団づくりに関わる学習会や研修会の開催。

（4）研究計画

・一学期 調査研究 授業実践 小中合同研修の実施 講師招聘による研修会の開催
地域人材の活用
・二学期 授業実践 指導主事招聘 地域人材の活用 講師招聘による研修会の開催
・三学期 来年度への課題とテーマの設定 地域人材の活用 研究紀要作成

5 生徒数一覧

| | 1年 | | | 2年 | | | 3年 | | |
|---|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 組 | 男子 | 女子 | 計 | 男子 | 女子 | 計 | 男子 | 女子 | 計 |
| A | 9 | 4 | 13 | 9 | 12 | 21 | 6 | 6 | 12 |
| B | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 |
| C | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 1 | 0 | 1 |
| 計 | 10 | 4 | 14 | 10 | 12 | 22 | 8 | 6 | 14 |

 全校生徒数 50名（5/1現在）

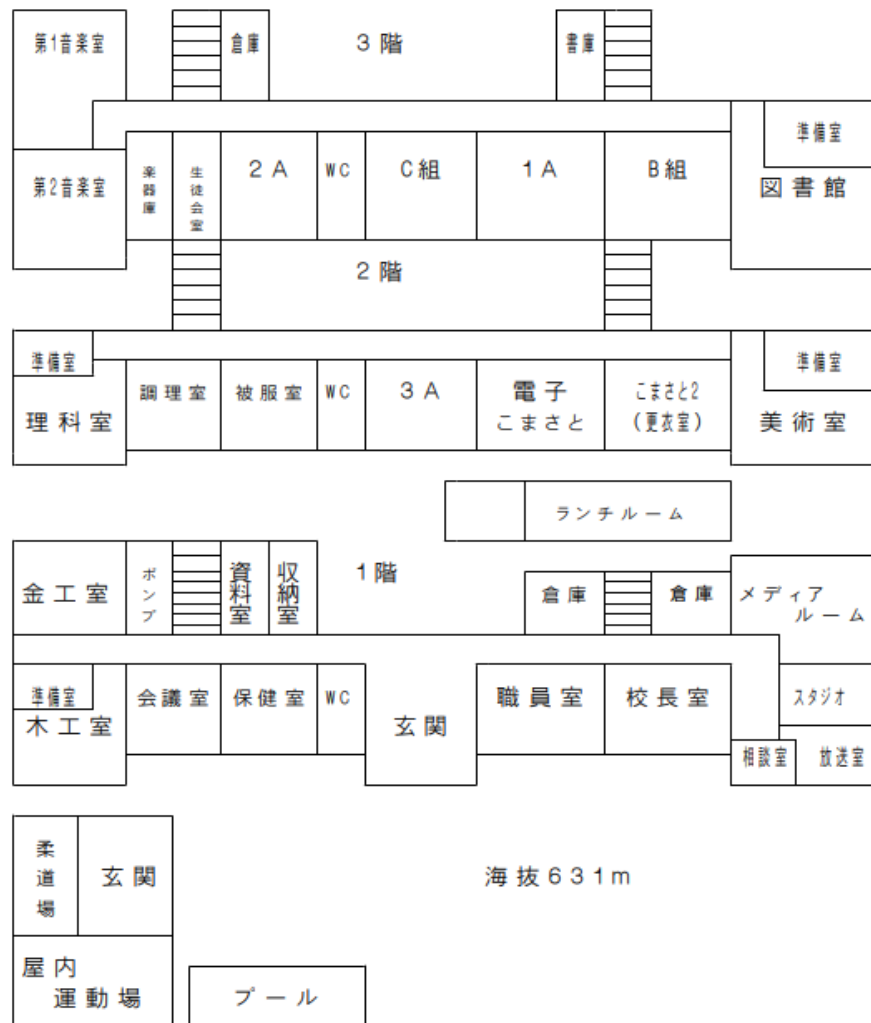
6 週 日 課 表

| 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|-------------------------------|-------------|---|-------------|-------------|
| 職員打合せ（火・木のみ） | 朝読書等 | | 朝の会 | |
| ① | ① | ① | ① | ① |
| ② | ② | ② | ② | ② |
| ③ | ③ | ③ | ③ | ③ |
| ④ | ④ | ④ | ④ | ④ |
| 給食 | | | | |
| 昼休み | | | | |
| ⑤ | ⑤ | ⑤ | ⑤ | ⑤ |
| ＼ | ⑥ | ⑥ | ⑥ | ⑥ |
| 清掃 | | | | |
| 帰りの会 | | | | |
| 【下校時間について】 | | | 活動終了 | 完全下校 |
| 4月1日～学園祭 | | | 17:45 | 18:00 |
| 学園祭～新人戦 | | | 17:15 | 17:30 |
| 新人戦～11月第2週末 | | | 16:45 | 17:00 |
| 11月第3週～11月末日 | | | 16:30 | 16:45 |
| 12月1日～2学期終業式 | | | 16:15 | 16:30 |
| 3学期始業式～1月31日 | | | 16:45 | 17:00 |
| 2月1日～第2週末 | | | 17:00 | 17:15 |
| 2月第3週～修了式 | | | 17:15 | 17:30 |
| 【部活動がない日について】 | | | | |
| 月曜日 | | | | |
| 土日のうちどちらかを原則とする（大会・コンクール前を除く） | | | | |

7 日課時程表

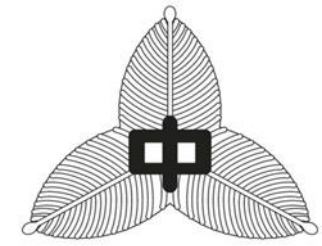
| | |
|----------------|---------------|
| 職員朝礼(火・木のみ) | 8:15 ~ 8:20 |
| 朝読書等 | 8:20 ~ 8:30 |
| 朝の会 | 8:30 ~ 8:40 |
| 1校時 | 8:45 ~ 9:35 |
| 2校時 | 9:45 ~ 10:35 |
| 3校時 | 10:45 ~ 11:35 |
| 4校時 | 11:45 ~ 12:35 |
| 給食・昼休み | 12:35 ~ 13:30 |
| 5校時 | 13:35 ~ 14:25 |
| 6校時 | 14:35 ~ 15:25 |
| 清掃(月) | 14:30 ~ 14:45 |
| (火・水・木・金) | 15:30 ~ 15:45 |
| 帰りの会(月) | 14:50 ~ 15:05 |
| (火・水・木・金) | 15:50 ~ 16:05 |
| ☆月曜日は部活動なし(基本) | |
| ※職員会議は基本月曜日 | |

8 校舎図・教室配置



9 職員一覧

| 職名 | 分掌 | 氏名 | 教科 | 住所 |
|-----------------------|--------------|------------|----------|---------|
| 校長 | 学校経営 | 青柳 香 | 数学 | 甲斐市 |
| 教頭 | 学校運営 | 秋山 俊哉 | 社会 | 韭崎市 |
| 教諭 | 教務主任 1年主任 | 藤原 直紀 | 技術 数学 | 北杜市 |
| 教諭 | 2年主任 | 進藤 由紀 | 保健 体育 | 韭崎市 |
| 教諭 | C組担任 | 伊藤 美幸 | 社会 | 韭崎市 |
| 教諭 | 2年A組担任 | 元村 翔 | 国語 | 北杜市 |
| 教諭 | 3年A組担任 | 望月 健太 | 数学 | 韭崎市 |
| 教諭 | 1年A組担任 | 根岸 幹実 | 英語 | 韭崎市 |
| 教諭 | 3年主任 | 猪股 敬 | 社会 | 甲斐市 |
| 教諭 | B組担任 | 小林 雄樹 | 理科 数学 | 韭崎市 |
| 教諭 | 初任者指導(兼務) | 名取 房子 | 英語 | 北杜市 |
| 非常勤講師 | 家庭科指導 | 向山 幸恵 | 家庭 | 甲斐市 |
| 非常勤講師 | 美術科指導 | 菅原 幹乃 | 美術 | 北杜市 |
| 非常勤講師 スクールサポートスタッフ | 音楽科指導・事務補助 | 仲田 光昭 | 音楽 | 韭崎市 |
| 市単補助教員 | 英語科学習指導 | 小尾 宗彦 | 英語 | 北杜市 |
| 学習指導員 | 技術・数学学習補助 | 高左右 浩 | 技術 数学 | 韭崎市 |
| ALT | 英語科学習指導 | ミックム・ミッシェル | 英語 | 北杜市 |
| 養護教諭 | 保健室経営 | 天野多美子 | | 北杜市 |
| 栄養教諭 | 栄養指導(兼務) | 小泉 麻美 | | 北杜市 |
| 事務職員 | 学校事務全般 | 保坂 岳 | | 甲府市 |
| 司書 | 図書館運営 | 山本 幸子 | | 北杜市 |
| 業務員 | 学校業務・給食業務 | 原 まさみ | | 北杜市 |
| スクールカウンセラー | 教育相談 | 井上 桃 | | 諏訪郡富士見町 |
| 学校医 | 武田 盛夫 | | | |
| 歯科校医 | 大久保尚法 | | | |
| 薬剤師 | 上原美奈子 | | | |



令和5年度

学校要覧



北杜市立白州中学校

〒408-0315

山梨県 北杜市 白州町 白須 1920番地

電話 0551-35-2534

FAX 0551-35-2876

E-mail main@hakushu-jhs.city-hokuto.ed.jp

校歌

作詞 米山愛紫
作曲 森義八郎

一、委けたかき 駒ヶ嶽
その麓の 土沃えて
みのり豊かな白州の
緑 したたる丘にして
文化の風に そびえたつ
いらかも匂う 我が母校

二、北に連なる 八つの嶺
あま山なみを 走る雲
朝夕に肩挙げて
心一つに あわせつつ
使命に燃えて 学びゆく
我らが胸に 希望あり

三、歴史に明るき 我が郷土
ここ甲信の 国境
流れ遠かな 釜無に
少年の日の 夢のせて
生命の春を 歌いゆく
白州中学 誉あれ